

事後評価シート

調査研究課題名	NPO によるボランティア活動に対する支援方策に関する研究 —環境・景観保全等を中心としたボランティア活動の 資金調達に関する一考察—
担当者	前総括主任研究官 掛江 浩一郎 研究官 高橋 一則
①当初目標と目標達成度	NPO の活動が持続可能となるような資金調達方策、特に個人からの寄付金や会費などがより多く調達可能となる方策を提案することを目的に、国内外の NPO の資金調達の状況、問題点、個人からの寄付金や資金についてヒアリング調査を行った。この結果、NPO が個人からの寄付金や会費などの支援をより多く調達するための、注意すべき点5つと10の具体的アクションプログラムの提案を行うことができた。また、NPO が自立した資金調達を行うために、行政などがバックアップできることとして、4つの提案もあわせて行うことができた。
②調査研究内容の妥当性	NPO の資金調達、特に個人からの寄付金や会費調達方策に関する研究は数少なく、独自性が高いと考えられる（先生方から、そのような意見を頂いている）。また、NPO の支援者となる一般の人々へのアンケートは、本邦でも数少ない取り組みであり、今後 NPO が支援者への対応を考える上で多くの知見を得ることができた。
③調査研究の仕組みの妥当性	文献調査にとどまらず、NPO にヒアリングを実施し調査を行ったことは、NPO の資金調達の実態を把握することが出来て非常に有益であった。また、千葉商科大学 井関利明教授、シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会 轟木洋子様との議論を通じて、調査研究の論点を明確にし、効率的に研究をまとめることができた。
④成果と活用	研究成果を対外的に公表するとともに、NPO との協働など今後の国土交通政策の検討の際に基礎資料として役立つ。
⑤その他	PRI Review2004 年秋期号に掲載し、関係者に配布予定。 NPO 関係ホームページにて紹介予定。
意見	